

冬期のオリーブ作業



オリーブは12月以降には休眠期に入りますので、3月の萌芽に備えて準備を行います。主に3種①②③の資材を与えます

① 堆肥 良い土壌を作るために大事な資材



- 堆肥の投入により、土壌の物理性を改善させます
- 牛糞堆肥やバーク堆肥を使用します
- 肥料分も少し含みゆっくりと効きます
- 管理機や耕運機で土壌混和まで行う事で本来の効果を発揮します
- 施用量の目安は10aで2t（1本辺り約60kg）ですが、散布できる範囲で行いましょう
- また、新植時に目安量の倍以上の施用で、生育が非常に良くなる事が確認されています

施肥時期	1月～2月上旬、次に散布する②苦土石灰と2週間程度空けるようにする
資材名	牛糞、バーク堆肥などの完熟堆肥
施肥量	2t/10a
散布方法	樹冠の外周部、オリーブの根域外を管理機等で混和する
効果	土壌構造の改善、長く緩やかに効く肥料分

